

のぞみふくいニューズレター



第35号 (H23年盛夏号)



(財)がんの子どもを守る会 福井支部 発行

TEL・FAX 0776-22-5132

Email nozomi-f@mx3.fctv.ne.jp

本部 URL <http://www.ccaj-found.or.jp/>

支部 URL <http://www3.fctv.ne.jp/~nozomi-f/>

残暑厳しい8月。ゲリラ豪雨。水難事故。今年は本当におかしいです。地球に限度を超えるなにかが起きている感じがします。皆様、節電の中、熱中症対策、災害等、何かと大変でございますが、お見舞い申し上げます。お盆には、都会に出ている方が福井へ帰って来られました。同時に、被災地の子ども達も福井へ避難して来たり、遊びに来たりしました。そして、天国の亡くなってしまった子ども達も久しぶりに家に帰って来ていたのでしょうか。家族と共に楽しく過ごしてまた帰っていったのでしょうかね。恒例の24時間テレビは、今年も難病と闘う子ども達がたくさん出てきます。最近ドラマで扱われる題材が白血病が多いですね。ただ、お涙頂戴の同情の寄付をもらう目的のドラマはあまり感心しません。だからどうしろというわけではありません。今日も、病気と闘っている子ども達はたくさんいます。そして今日亡くなってしまった子どももいるはず。この子達や家族のために何か支援をするにしても、ご寄付が無いといろんな活動が出来ないのが現状なのです。子ども達が夏休みに入って、もう1ヶ月。もうすぐ新学期。季節、時はつぎつぎと流れていきます。海外も日本も政局が不安定で、どうなっていくのかわからないこの地球。それでも季節は、もう秋です。(文責：代表幹事)

(財)がんの子どもを守る会 定期総会

6月12日(日) 東京の砂防会館にて総会が行われました。2010年度の決算の承認と、本年度の予算と活動内容の発表がありました。本年は、がん対策基本法施行から5年経ち、厚労省は予算の見直しを行うということで、「大人のがん」ばかりで、小児がんに対しては何も予算がついていなかったのが、チャンスをいかし、本部を中心に全国の支部の意見をまとめて厚労省の委員会に提出しました。福井支部としては、小児がん専門医が不足、外科、脳外科の小児がん専門の医師がいないことへの不安。治療終了後のフォローアップの問題。入院時の患者、家族のQOLの向上、グリーフケアについて訴えました。福井での小児がん治療の不安解消のために福井支部もがんばります。さまざまな活動は、すべて、会員の方の会費と、ご寄付で成り立っています。今後ともなにとぞご協力のほどお願いいたします。

福井県難病患者団体連絡協議会総会

6月25日(土) 福井県立病院3階 講堂にて総会が行われ、同時に10周年の記念の集いも行われました。記念講演「心の健康を保つためには、(財)松原病院理事長・福井心のクリニック理事長・公益社団法人福井被害者支援センター理事長の松原六郎先生が、3.11の大震災の被災地へ行かれ、実際に被災者と触れ合ったときに感じた心の支援についてなどをお話されました。私も福井支部が、難病連に加入した当時の保健師さんにお会いでき、ピアカウンセリングが事業として県に採用されるまでご苦労されたことなどを懐かしく思い出しました。ピアカウンセリングが継続して行えることは、とても大事なことです。やはり、大人の難病に重点を置いているところがあり、子どもの難病にも目を向けていただけようようにしていきたいです。

のぞみお話しタイム主催 夏祭り

7月27日(水) 福井大学医学部附属病院小児病棟プレイルームにてたくさん子ども達に参加していただきました。楽しいことがないといっている、患児と家族の治療生活に少しでも外の風を入れてあげること。楽しんで、笑顔でいられるようにと、お話しタイムのメンバーさんが、縁日やうちわ作りを企画、景品やプレゼントをさしあげました。皆さんが喜んでいただけたようで、よかったです。

難病支援センター事業 ピアカウンセリング交流会 嶺南地区

8月7日(日) 敦賀市東洋町のプラザ万象会議室にて行いました。参加者は、全部で9名でした。ピアとは、同じ経験をしたもの同士ということです。嶺南へは年1回しか行けませんが、「広報つるが」に載せていただけたことで、いってみようと思われた方が、新しく毎年1名は来られます。地道な活動ですが、仲間がいるということで、一人ではないという安心感もあり、明日への活力の一部になっていただけないかと思っています。次回は、9月25日(日)に金沢の石川県地場産業振興センターにて北陸地区の交流会を行います。福井では、坂井市で12月に行う予定です。毎月第一土曜日の定例会でもお話しは伺っていますので、お気軽にお越しください。